

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)アトリエヨシノ相模湖プロジェクト	階数	地上5F
建設地	神奈川県相模原市緑区寄瀬字稲原	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	120 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	2,920 時間/年
建物用途	集会所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年3月 予定	評価の実施日	2010年10月8日
敷地面積	2,266 m ²	作成者	有限会社つちこ建築
建築面積	1,044 m ²	確認日	2010年10月8日
延床面積	5,160 m ²	確認者	コマツハウス株式会社

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆

S: 100, A: 3.0, B+: 1.5, B: 0.5, C: 0.0
環境品質 Q (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

建設: 77%
参照値: 100%
単位: (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合 本物件は相模湖の湖畔で自然豊かな場所に位置し、倉庫(工場)とスタジオ(集会所)による複合施設が計画されている。敷地にゆとりをもって建設することで風の通り道を確認し、本物件建設による温熱環境に配慮する。また、街並みに調和した外装計画として良好な景観形成に配慮する。	その他 0	
Q1 室内環境 ・給気口と排気口は6m以上離れて異なる方向に取り付けられているため、室内空気質を健全に保つ配慮がなされている。	Q2 サービス性能 ・配管材料の耐久性、耐用年数に配慮する。 ・PSやコブ部分を少なくすることで平面空間の自由度を向上させ、快適性や対応性に配慮する。	Q3 室外環境(敷地内) ・建設前は緑地が無かったが、本物件建設の際に緑地を創出することで良好な景観の形成に配慮する。 ・敷地に適度な空地を設ける(空地率50%以上)ことにより、風の通り道を確保し、温熱環境の緩和に配慮する。
LR1 エネルギー ・外壁や屋根において断熱性の高い工法・資材を採用し熱負荷抑制に配慮する。 ・効率のよい照明器具を採用しEERRに配慮する。	LR2 資源・マテリアル ・水栓や便器は省水型機器を多く採用し節水に配慮する。 ・躯体と内装材を分別しやすくし、資源のリサイクルに配慮する。 ・ハロン消火剤を一切使用せず、汚染物質の使用回避に配慮する。	LR3 敷地外環境 ・十分な駐輪・駐車スペースを確保し、敷地外への交通負荷抑制に配慮する。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたし